



港区立高松中学校 学校だより<第1号>

平成28年4月11日 校長 鈿持 利行

創立1949年(昭和24年)

<高松中生のあたりまえ>推進校

港区高輪1-16-25

新年度のはじまりあたって

校長 鈿持 利行

温かい春の陽射しのもと、爛漫の花に彩られて、いよいよ新年度が始まりました。100名の新入生を迎え、全校生徒数299名でのスタートとなりました。新入生の保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。2,3年生の保護者の皆様、今年度もよろしくお願ひいたします。

入学式では、次のような話をしました。

私は、この高松中学校が、「今日が楽しく、明日が、待ち遠しい学校」にしたいと、努力を続けていきます。そのためには、皆さん一人ひとりが「思いやりの心」を持つことが必要です。思いやりのあるやさしい人とは、相手の立場になってみることから始まります。これからの中学校生活を通して人と人との関わり大切さに、気付いてもらいたいと願っています。人を尊敬する気持ち、大切にすること、仲良くしようとする気持ちがなければ、本当の自立はありません。人は誰しも希望や喜び、そして悩みをもって生活しています。いつも自分のことだけを考えるのではなく、他の人のことを考え行動できたら、どんなに素晴らしいでしょうか。そして、友だちが困っていたり悩んでいたら、声をかけ相談に乗ってほしいのです。友だちをつくり、互いに学び合い助け合っていくところに、真の友情が生まれます。

中学校は、集団生活を通して、守らなければならない約束ごとや、いろいろな考えがあること。人との接し方や協力し合う知恵、責任の果たし方など、将来にわたって生活していく上で大切なことを学ぶところです。この高松中学校で、多くの体験を試みてください。知識として知っていても、実際に経験・体験がないと、知識が知恵として働きません。中学校の勉強は、自分から学ぶ。人と交わって学ぶ。さらに体験して学ぶ。ことが大切なのです。

2,3年生の皆さん。後輩が大きな希望と少しの不安をもって入学してきました。楽しく充実した学校生活を送れるよう応援していきましょう。そして、義務教育の最後仕上げが立派にできるよう一緒にがんばりましょう。

今年度も、豊かな心の育成と確かな学力の定着を目指し、教職員一同全力を尽くします。保護者・地域の皆様には一層のご理解とご協力の程、よろしくお願ひいたします。

